

全国高P連宮城大会

PTA副会長 宇野 精浩

8月24日(木)、25日(金)の2日間宮城県仙台市にて第72回全国高等学校PTA連合会大会が開催されました。わが校からは、山本校長、藤木先生、池田健全育成委員長、岡本健全育成副委員長、宇野の5名で参加してきました。

初日の基調講演は、仙台育英学園高校野球部監督 須江航氏による講演「伝わる言葉・失敗から学ぶ～しなやかな強さで生き抜く力」を聞かせていただきました。

昨年同様、今年も1つの会場に集まり、沢山の参加者でいっぱいでした。その後、県内の高校PTAの方々との交流会がありました。ネットワークも広がり大変有意義なものとなりましたので、今後の役員の方々には是非参加していただきたいと思っております。



北信越高P連新潟大会

PTA会長 吉本 興史一

7月14日(金)～7月15日(土)の2日間、令和5年度北信越地区高P連研究大会が新潟市で開催されました。1日目は、各県代表校からの活動報告があり、具体的な取り組みだけでなく、「PTAは学校教育にどこまで介入すべきか?」という、スタンスを決める上でのヒントを頂きました。2日目は、俳優の高橋克実さんの講演があり、夢を実現するには強い想いが重要である一方、周囲から応援される人間性も必要である事を学びました。大会の内容はもとより、新潟という遠出を共にした先生方やPTAの方々との時間共有の中で、自分自身に「敦高(とんこう)PTAで良かった～!」という意識が芽生えた事が一番の収穫でした。親として、改めて我が子の通う学校を好きになるという貴重な機会を頂いた事に感謝申し上げます。



キャリアガイダンス研修会

PTA副会長 清水 敏美

9月9日出福井県生活学習館にてキャリアガイダンス研修会が開催され、宇野副会長、竹中会計、梶田顧問、藤木先生と参加しました。弁護士・文部科学省消費者教育アドバイザーの島田広氏による「18歳成年、消費者としての自立をどう支えるか」と題した講演でした。2022年4月1日から成年年齢が18歳になり、若者の消費者被害が増えると懸念されました。現代はSNSが勧誘のきっかけになることが多く、「金」と「美」に関する被害が一番危ないということです。社会経験の乏しい若者はダマされやすいといわれるのは、脳の熟慮システム(情報を総合し理性的に判断)の脆弱性が関係しているそうです。

そんな子どもたちを守るために私達親ができることはなにか。自尊感情のベースとなる心のふれあいを大切にするために、悩みや不安を抱えた時に「大丈夫?」と声をかけたり、親自身の悩み・失敗・解決した経験を共有したりする。進学・転居の際の契約と一緒に取り組む。

消費者トラブルを避ける3つの力(気づく力・断る力・相談する力)を育む。これから社会に子どもを送り出す親として貴重な講演を聴かせていただきました。



福井県高等学校PTA連合会研究大会

PTA副会長 長谷川 祐哉

11月5日(日)、福井県高等学校PTA連合会研究大会が福井市のA OSSAで開催され、吉本会長、清水副会長、山本校長と参加させていただきました。今回は、名古屋大学大学院教育発達科学研究科の教授である内田氏による「学校リスクの見える化・部活動革命から働き方改革まで」と題し、学校の中で子どもや教師が出逢うさまざまなリスクや、教育現場における教師不足を踏まえ、これから教育の魅力はどう伝えていくかなど、とても考えさせられる講習でした。また、奥越明成高校さん、武生高校さんがPTA活動について発表を行い、学校祭保護者参加PTA模擬店の様子やボランティア活動の紹介もあり、保護者が学校と関わり活動を実施する大切さを実感しました。最後に、私たち保護者もPTA活動を通じて、学校との繋がりをより深め、生徒たちがより良い学校生活を送り、安心・安全に笑顔絶えず過ごせる環境づくりのため、これからも働きかけていくことの大切さを改めて感じさせられた研究大会でした。

